



こまくさ

平成29年
11月10日(金)
No.30

《教育目標》 ~夢に向かって やさしく! かしく! たくましく!~

11月に入り、校庭のドウダンの真っ赤な葉が美しくなりました。冬支度をしなければならぬ季節ですが、この時期学校は研究会真っ盛りで忙しくなります。先週も角館小学校で東北規模の研究会が市の研究会と一緒に行われたため臨時休校となり、学校報も出せずじまいですみませんでした。そして、来週11月14日(火)は、本校の中間公開研究会です。文書でお知らせしておりますが、早い放課になります。大変ご迷惑をおかけしますが、私たちが研究会で勉強したことを授業に生かして、子どもに力をつけていきますので、どうぞご理解とご協力をお願いします。

さて、今回は、課外活動での子どもたちの活躍をお届けします。

金管東北大会

10月28日、第46回マーチングバンド



・バトントワーリング東北大会に出場した金管バンド部は、新聞でも紹介されましたように、エクセレントステージ賞をいただきました。出場を決めた美郷大会からまた一段と上手になり、他県の皆さんにもすばらしい演奏を聴かせてきました。「フェスティバル部門の出場だけではもったいない」との話をしてくれる方もいました。6年Y.さんは、「美郷大会で失敗したところも、全員しっかり直して演奏できました。演奏前はみんな緊張していましたが、演奏が始まると夢中になって演奏しました。終わってからは、やり切った充実感、満足感があふれていました。応援してくださった皆さん、ありがとうございました。この後、東北大会出場を生かして、交流演奏会やラストコンサートに向けて頑張ります。」と話してくれました。

空手の大会

10月22日、小坂町交流センターで行われた第16回実戦空手道武心会交流大会に出場した5年O. ①さんとO. ②さんが入賞しました。

《型競技》

O. ②さん 3位 O. ①さん 4位

《組手》

O. ①さん 準優勝 O. ②さん 3位

左の写真左側が組手の時のO. ①さんです。蹴りが相手の背中に当たっています。右の写真右側がO. ②さんです。蹴りを出す瞬間で、この蹴りがポイントになって勝ち上がりました。

O. ①さんはけがから復帰して久々に入賞しました。見事ですね。二人とも頑張りました。



ミニバス大会

10月8日から9日、スポーツセンターで行った福原カップミニバスケットボール大会で見事準優勝しました。この準優勝は、12日から始まる東北電力旗の大会に大きな弾みをつけました。

この大会は、県内外から多くの参加校があり、ブロックごとのリーグ戦を行い、各リーグから勝ち上がったチームによりトーナメントを行います。青森県のおいらせ町やむつ市のチームを撃破して予選リーグを1位で突破したイーストウインズは、岩手県花巻市の南城と対戦し、37対32で決勝に進みました。決勝は東北1位の岩手県一関市のチームでした。子どもたちの感想では、大きくて強いチームだったということでした。敗因は、大きい子が3人いて、リバウンドを支配されたということです。29対41で敗れはしましたが、東北1位のチームに6ゴール差で準優勝という結果は素晴らしいと思います。



写真のように、隙があれば速攻、ディフェンスとの距離があればミドルレンジからのシュートを決めています。チーム力が上がっているのも、電力旗でも全県めざして頑張ってもらいたいですね。

《東北電力旗の大会予定》

- 12日(日) 会場 大曲体育館
14:50~ VS 角間川・花館の勝者
(勝ち上がった場合)
18日(土) 会場 リリオス
10:00~ VS 太田東・四ツ屋・中仙の勝者
13:30~ 準決勝
19日(日) 会場 リリオス
14:40~ 決勝 12:20~ 3位決定戦

社会科研究発表会

11月7日(火)、大曲仙北社会科研究発表会に6年H.さんと5年I.さんが出場しました。夏休みの自由研究をもとに、更に考察を深めて発表しました。それぞれ「林業の世界にせまる」「介護老人保健施設の仕事調べ」というタイトルです。二人ともとても緊張していましたが、立派に発表して奨励賞をいただきました。

審査員の先生からは、H.さんの発表には「5年生の社会科の学習をしっかり頑張っているからこのような研究ができる。素晴らしい。」と、I.さんの発表には「家族の仕事をきっかけにして研究を始めることは、家族の励みにもなる。細かい点まで調べて図などでわかりやすくまとめていて素晴らしい。」というお話をいただきました。また、閉会行事で社会科研究会の会長さんから、「インターネットや資料だけで調べる人が多いが、実際にその場に行ったりインタビューをしたりしてまとめた研究が多かった。だから、実感がともない、深まった研究になる。」というお話をいただきました。

今回、理科研究発表会にも参加させたかった作品があったのですが、締切が早く対応できませんでした。社会科も理科もテーマを絞り、研究したことの反省、更に調べたいことなどを継続して取り組んだ作品が高評価を得ます。ですから、来年更に研究を充実させて発表会に応募できればと考えています。

今回の二人の発表要旨を、後日お知らせします。